

1 研究主題

「新たな時代を豊かに生き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる学校教育」
～新たな時代を牽引し、持続可能な社会を形成していく、空知を愛する子供を育てる学校経営～

2 研究推進の概要

- (1) 研究主題の解明のため、市町校長会や共同研究ブロックとの一層の連携強化と校長会研究大会の内容の充実に努める。
- (2) 生涯学習社会における学校教育の役割を踏まえ、個性を伸ばし、心豊かで逞しく生きる児童生徒の育成のため、研修活動の活発化に努める。

3 研究の成果と課題

○成果

- ・ 令和2年度より、研究基本構想「第6次3か年計画」をスタートさせた。以下に記載する5つの事項を重視し、とりわけ、校長のリーダーシップを視点として積極的に研究・実践に努めてきた。
 - 1 社会に開かれた教育課程
主題：「社会に開かれた教育課程」の実現
 - 2 資質・能力の育成と学習評価
主題：新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実
 - 3 豊かな心と健やかな体を育む教育
主題：豊かな心と健やかな体を育む教育の充実
 - 4 教員の育成と働き方改革
主題：多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成と働き方改革の推進
 - 5 学校・家庭・地域及び校種間連携
主題：家庭・地域や校種間における連携・協働の推進
- ・ 3か年計画の3年次の取組を、15のブロックにて共同研究の形で推進した。
- ・ 共同研究ブロック毎の実践研究は、研究大会にて提言及び紙上提言として分科会ごとに発表した。
- ・ 各分科会のまとめは、研修だよりや会報にて「研修の成果」として掲載している。
- ・ 研究の成果として、全日中札幌大会の第8分科会において、岩見沢市立栗沢中学校の伊藤聡校長が「学校と地域の連携・協働による『チーム学校』の実現～人づくり・まちづくりの一体的な取組を通して～」というテーマで提言発表を行った。

○課題

- ・ 今年度は「空知校長会研究大会」はオンライン開催とした。会中での実践交流はできなかったが、提言を中心に協議、交流を実施できたことは大きな成果につながった。分科会では提言をもとに意見交流が行われ、「成果と校長の関わり」や「課題と今後の方向性」に対して、協議を深めることができた。
- ・ 研究大会の趣旨を重んじるとともに、組織力のさらなる向上を目指し、次年度以降も可能な限り会中での開催を計画していく。

1 研究主題

「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち、ともに未来社会の創造に挑戦する空知の子どもを育てる学校経営～

2 研究主題設定の趣旨

- (1) 空知校長会では、研究基本構想『第7次3か年計画』（令和5年度～）を策定した。今年度はその研究推進の1年次目となる。研究の継続性を踏まえ、第7次3か年計画における研究主題としている。
- (2) 子ども一人一人の能力を伸ばし、来るべき社会の担い手として必要とされる基本的な資質・能力を育む学校経営を推進するため、校長としてのリーダーシップの在り方を求め、空知を愛する子どもを育てる学校経営を力強く推進することを目指し、本研究主題を設定した。

3 研究内容

- (1) 令和5年度「空知校長会第59回研究大会」の開催

空知地区の校長が、共に学校経営上の諸課題について研究協議を行い、校長としての職能の向上を図るとともに、管内教育の充実・発展に寄与することをねらいとし、十分な感染症対策をした上で、会場で開催する。

【研究協議題及び主題】

- | | | |
|----------|---------|-----------------------------|
| 第1分科会協議題 | 《学校経営》 | 主題：創意と活力のある学校経営ビジョンの実現 |
| 第2分科会協議題 | 《教育課程》 | 主題：質的向上を目指すカリキュラム・マネジメントの実現 |
| 第3分科会協議題 | 《指導・育成》 | 主題：教職員の資質向上を担う協働体制の実現 |
| 第4分科会協議題 | 《危機管理》 | 主題：安全・安心を目指す学校の実現 |
| 第5分科会協議題 | 《教育課題》 | 主題：自立と共生に向けた教育活動の実現 |

- (2) 各種校長研究大会や研究団体等の研修会への参加と協力

全国、全道レベルの研究大会への積極的な参加を通して、管内教育への成果還元を図り、学校経営に資するものとする。また、各種研修会への支援、協力を行うことで、なお一層の管内教育の充実を図る。

4 研究推進計画

- 令和4年11月～ 共同研究ブロック単位での実践研究（研究テーマ設定→実践→まとめ→発表）
- 令和5年8月 「空知校長会第59回研究大会」の開催（研究成果等の交流と研究の総括）
- 9月～10月 全国、全道研究大会への参加（成果還元）
- 10月 研究活動の反省と総括
- 11月 新たな研究活動のスタート（研究基本構想『第7次計画』）

5 研究組織

- ・ 空知校長会研修・情報部（担当副会長・部長・副部長・部員）を核にした研究推進体制
- ・ 地区を15の研究ブロックで構成し、5つの主題の下、3つずつの共同研究ブロックにて研究を推進

6 その他

研究大会は、その趣旨を重んじるとともに、組織力のさらなる向上を目指し、会場で開催を計画するが、管内の状況に応じて開催方法の変更（時間の短縮、分散型での研究協議、オンライン開催など）を検討する。